



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたくましく



笠懸小学校

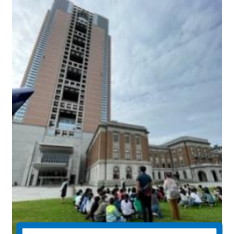
学校だより No.20 2022.10.17

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

校外学習の子どもたちの姿から

10月12日(水)に4年生が群馬県立自然史博物館及び群馬県庁へ出かけ、翌13日(木)には2年生が埼玉県こども動物自然公園に、14日(金)には1年生が桐生が岡遊園地・動物園へと、今週はたくさんの校外学習が実施されました。それぞれの校外学習が無事に、意義のある楽しい学習になったようです。校外学習の実施にあたり、各ご家庭には準備やお弁当の用意など様々にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

今号では、校外学習の中で見られた子どもたちの姿から感じられたよさをお伝えします。



県庁前広場にて

【1年生】

事前の計画に沿って乗り物に乗ったり動物を見たりして、グループで仲良く過ごすことができました。途中ではぐれてしまった人がいても、決めておいた集合場所に集まって再び活動を始めていました。また、先生から出されたクイズに答えられるように、園内の掲示物を見て、熱心に答えを探ることができて立派でした。



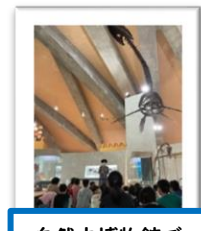
かわいいお弁当

【2年生】

初めての場所で、広い動物公園の中でも地図を見たり、教師に聞いたりして、グループ活動をしっかり行うことができました。グループ活動の中で、互いに助言し合う姿が見られました。また、助言をしっかり受け留めて、皆が気持ちよく行動できるように協力するなど、成長が感じられました。

【4年生】

恐竜の骨格標本を見て、効率よく食べ物を得たり、獲物をとったりするために様々な進化を遂げた事実に感動するなど、深い見方や考え方ができていました。また、県庁でエレベーターに乗った際に、途中で他の人が入って来た時には会話を控えたり、案内役の方が説明を始めるとすぐに聞けたりと、時と場合に応じた行動が主体的にできて立派でした。



自然史博物館で

令和4年度第1回学校評価の結果⑤「健康・体力」「キャリア教育」について

| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | 方策 | 自己評価 | 改善策 |
|-----------|---|--|--|-------------------------|--|
| V 安全指導 | 10 学校は、安全管理(防災、設備、避難訓練等)に十分取り組んでいると思えますか。 | 「学校は、避難訓練を適切に実施するとともに、施設面でも安全な教育環境を整えている」と答える保護者が85%以上である。 | ○J-ALERTを活用した実践的防災訓練や火災・不審者避難訓練を計画的に実施し、安全管理マニュアルを見直す。 ○安全点検を確実にを行い、危険箇所等はすぐに修理・改善していく。 | 「おおむね満足」以上の保護者が96.7%「A」 | 子どもに安全な環境や安心できる場所を提供することは、学校の最重要な事柄の一つです。全職員が日常的な安全管理の意識を保てるよう、安全管理の重要性を確認する機会を引き続き設けます。安全主任を中心に、安全点検の形骸化を防ぎ、複数の目で点検していきます。また、危機管理マニュアルを定期的に確認し、改善を図ります。そして、事案発生時の各自の役割分担をより一層意識させた訓練を行っていきます。 |

| | | | | | |
|--------------|---|---|---|-------------------------|---|
| | 11b 登下校の安全についてお子さんに声をかけたり、話し合ったりしていますか。 | 通学路の危険箇所について子どもと話し合ったり確認し合ったりして、緊急時の対応がとられている家庭が85%以上である。 | | 「おおむね満足」以上の保護者が93.4%「B」 | PTA 校外補導部による通学路点検、通学路合同点検等を通して通学路の安全への意識は、児童・家庭ともに高まってきていると思います。学校では、登下校の安全について、 <u>児童への指導を班の状況をみてきめ細かく行うとともに、各種通信やメール等を活用しながら、家庭と学校がともに協働して安全確保できるよう努力します。(※1)</u> |
| VI キャリア教育 | 12a お子さんの将来の夢や目標について、お子さんに声をかけたり話したりすることがありますか。 | 将来の夢や希望について、親子で学期1回以上話し合っている家庭が80%以上である。 | ○キャリアパスポートを有効活用することで児童と保護者の進路や生き方に関する意識高揚を図る。 | 「おおむね満足」以上の保護者が79.5%「C」 | 「キャリア・パスポート」を活用して、 <u>将来の夢は何なのか、その夢を実現するためには今何をしていくのかなど、今自ら学ぶ意義を考えさせ、自ら学ぶ意欲を高めていく指導を続けます。(※2)</u> また、「キャリア・パスポート」に対して保護者からコメントをもらうだけでなく、家庭内で将来の夢について話題にするように学年通信や学級通信で呼びかけるなどして、キャリアパスポートを有効活用できるようにしていきます。 |
| | 12b お子さんは、自分の目標をもち、努力していると思いますか。 | 困難なことがあってもくじけたり逃げたりせずに努力している児童が80%以上である。 | | 「おおむね満足」以上の児童が92.1%「A」 | 困難に対してくじけたり逃げたりしないと答えている児童がこんなにも多くいたことに感心します。今後も、学級活動や道徳などの授業改善に努め、 <u>自ら目標を立ててチャレンジすることの意義や、やればできるという実感を味わわせる経験を通して、振り返りや認め合いを大切にした自治的活動や話し合い活動の充実を継続していきます。(※2)</u> |

(※1について)

第1回学校評価の自由記述に「下校の際、中学校の門を出た直ぐの横断歩道上で、ふざけている児童を見かけます。」とのご意見をいただきました。児童の安全確保のために、学校では全体への指導に加えて、通学班ごとの状況確認等を行っています。登下校の安全確保については、学校だけでなくご家庭でもご協力をお願いします。

「大切な子どもの安全は、みんなで守る。」という当事者意識をもち、皆で対応していきましょう!

(※2について)

夢や目標に向かって、主体的に取り組めるようなキャリア教育はとても大切です。保護者や教職員は児童がそれぞれの子どもの夢や目標の実現に向けて、最大限サポートしていきたいものです。そのためには、「目標を具体的にもたせること」「自分はきっとできると思えるようにすること」がわたしたち大人の役割として重要です。